

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

御
濟

隱匿物資等緊急措置令

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ

付セラレムコトヲ請フ

昭和二十一年二月十四日

内閣總理大臣男齋幣原喜重郎



七

日

月

六

日

隱匿物資等緊急措置令

第一條 本令施行ノ際現ニ別表ニ掲グル物資（以下調査物資ト稱ス）ヲ所有シ又ハ占有スル者ハ本令施行ノ日ニ於テ所有シ又ハ占有スル調査物資ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書三通ヲ昭和二十一年三月十日迄ニ當該物資ノ所在ノ場所ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ商工大臣ニ提出スベシ但シ商工大臣ノ指定スル數量ニ滿タザル數量ノ調査物資ヲ所有シ又ハ占有スル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 所有シ又ハ占有スル本人ノ氏名又ハ名稱、住所及職業又ハ事業

二 當該物資ニ付本人以外ノ所有者又ハ占有者ノ存スル場合ニ於テハ其ノ者ノ氏名又ハ名稱、住所及職業又ハ事業

- 三 當該物資ノ名稱、數量及所在ノ場所竝ニ本令施行前一年間ニ入手シタルモノニ付テハ其ノ旨
 - 四 所有又ハ占有ノ目的
 - 五 入手ノ経路
 - 六 最近四月間ノ使用又ハ販賣ノ數量及今後四月間ノ使用又ハ販賣ノ見込數量
 - 七 其ノ他必要ト認ムル事項
- 調査物資ニシテ世帯ヲ同ジクスル戸主及家族ノ所有シ又ハ占有スルモノ（戸主及家族ノ業務上所有シ又ハ占有スルモノヲ除ク以下同ジ）ニ付テハ前項本文ノ規定ニ拘ラズ世帯主ハ同項ニ掲グル事項ヲ同一ノ報告書ニ取纏メ記載シ之ヲ提出スベシ此ノ場合ニ於テハ同項但書

ノ規定ハ調査物資ニシテ世帯ヲ同ジクスル戸主及家族ノ所有シ又ハ占有スルモノノ合計數量ニ付之ヲ適用ス

世帯ヲ同ジクスル戸主及家族ニシテ世帯主以外ノモノハ其ノ所有シ又ハ占有スル調査物資ニ關スル記載ニ付前項ノ規定ニ依ル世帯主ノ報告書ノ作成ニ對シ協力スベシ

第一項ノ規定ハ昭和二十年商工農林省令第一號第一條ノ規定ノ適用ヲ受クル者ノ所有ニ係ル絹紡絲、柞蠶絲又ハ絹製品ニ付テハ之ヲ適用セズ

第二條 前條ノ規定ニ依リ報告書ヲ提出スベキ調査物資ヲ所有シ又ハ占有スル者ハ本令施行ノ日ヨリ昭和二十一年四月二十日ニ至ル期間當該物資ヲ讓渡シ又ハ隠匿若ハ退藏ノ目的ヲ以テ其ノ形質ヲ變更シ

若ハ之ヲ移動スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 物資統制令又ハ昭和十二年法律第九十二號ニ基キテ發スル命令ノ定ムル所ニ從ヒ又ハ此等ノ命令ニ基ク處分ニ依リ調査物資ヲ讓渡スル場合

二 重要産業團體令ニ依リ統制會ノ統制規程又ハ商工組合法ニ依ル統制組合ノ統制規程ノ定ムル所ニ從ヒ調査物資ヲ讓渡スル場合

三 商工大臣又ハ地方長官ノ指示スル配給經路ニ從ヒ調査物資ヲ讓渡スル場合

四 商工大臣ノ指定スル者（以下統制機關ト稱ス）ガ調査物資ヲ讓渡スル場合

五 統制機關ニ對シ調査物資ヲ讓渡スル場合

六 統制機關ノ指示ニ基キ調査物資ヲ讓渡スル場合

七 農業團體法ニ依ル農業團體、水産業團體法ニ依ル水産業團體、森林法ニ依ル森林組合又ハ市町村其ノ他ノ公共團體ガ調査物資ヲ讓渡スル場合

八 工場又ハ事業場ニ於テ其ノ從業者ニ對シ其ノ業務上必要トスル數量ノ調査物資ヲ讓渡スル場合

九 小賣業者ガ消費者ニ對シ調査物資ヲ讓渡スル場合

十 特別ノ事情ニ依リ商工大臣又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケ讓渡スル場合

前項ノ規定ニ依リ調査物資ノ讓渡ノ禁止セラレタル場合ニ於テハ當

該物資ハ之ヲ讓受クルコトヲ得ズ

第三條 主務大臣ハ地方長官調査物資又ハ調査物資以外ノ國民生活ノ安定ヲ確保スル爲必要ナル物資ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ（以下指定物資ト稱ス）ノ配給ノ適正又ハ價格ノ安定其ノ他國民經濟ノ正常ナル運行ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ調査物資又ハ指定物資ヲ隱匿シ又ハ退藏スト認メラルル所有者其ノ他此等ノ物資ヲ多量ニ所有スル者ニ對シ期間其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ當該物資ノ讓渡其ノ他ノ處分ヲ禁止シ又ハ讓渡ノ時期、價格、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ當該物資ノ讓渡ヲ命ズルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官前項ノ規定ニ依ル讓渡其ノ他ノ處分ノ禁止ヲ命令ヲ爲シタル場合又ハ調査物資若ハ指定物資ノ所有者知レザル場

合其ノ他所有者ニ對シ當該物資ニ付同項ノ規定ニ依ル讓渡其ノ他ノ處分ノ禁止ノ命令ヲ爲スコト著シク困難ナル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ當該物資ヲ占有スル者ニ對シ期間其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ當該物資ノ引渡其ノ他ノ處分ヲ禁止スルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官第一項ノ規定ニ依ル讓渡ノ命令ヲ爲シタル場合又ハ調査物資若ハ指定物資ノ所有者知レザル場合其ノ他所有者ニ對シ同項ノ規定ニ依ル讓渡ノ命令ヲ爲スコト著シク困難ナル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ當該物資ヲ占有スル者ニ對シ引渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ之ガ引渡ヲ命ズルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官調査物資又ハ指定物資ノ所有者知レザル場合

其ノ他所有者ニ對シ第一項ノ規定ニ依ル讓渡命令ヲ爲スコト著シク
困難ナル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ル引渡ノ命令ヲ爲シタルトキハ
當該物資ノ引渡ノ相手方ヲシテ其ノ對價ヲ供託セシムベシ此ノ場合
ニ於テハ當該物資ノ引渡ノ相手方其ノ供託ヲ爲シタル時當該物資ノ
讓渡ヲ受ゲタルモノト看做ス

第四條 調査物資又ハ指定物資ヲ隠匿シ又ハ退藏スト認メラルル所有
者其ノ他此等ノ物資ヲ多量ニ所有スル者ハ主務大臣又ハ地方長官ノ
指定スル者ガ讓渡ヲ受クベキ調査物資又ハ指定物資ノ名稱、數量及
價格、所有者、讓渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣又ハ地方
長官ノ認可ヲ受ゲ之ガ讓渡ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但
シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣又ハ地方長官ノ許可ヲ受ゲタ

ルトキハ此ノ限ニ在ラズ

調査物資又ハ指定物資ヲ占有スル者ハ前項ノ規定ニ依リ主務大臣又
ハ地方長官ノ指定スル者ガ同項ノ規定ニ依リ當該物資ノ讓渡ヲ受ケ
タル場合又ハ當該物資ノ所有者知レザル場合其ノ他所有者ニ對シ同
項ノ規定ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト著シク困難ナル場合ニ於テ引渡ヲ
受クル當該物資ノ名稱及數量、占有者、引渡ノ時期其ノ他必要ナル
事項ニ付主務大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ受ゲ之ガ引渡ヲ求メタルト
キハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ主務大臣又
ハ地方長官ノ許可ヲ受ゲタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前二項ノ規定ニ依ル主務大臣又ハ地方長官ノ認可ハ調査物資又ハ指
定物資ノ配給ノ適正又ハ價格ノ安定其ノ他國民經濟ノ正常ナル運行

ヲ圖ル爲必要アリト認ムル場合ニ於テ之ヲ爲スモノトシ主務大臣又

ハ地方長官ハ其ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第一項ノ規定ニ依リ主務大臣又ハ地方長官ノ指定スル者ガ調査物資
又ハ指定物資ノ所有者知レザル場合其ノ他所有者ニ對シ同項ノ規定
ニ依ル讓渡ヲ求ムルコト著シク困難ナル場合ニ於テ第二項ノ規定ニ
依リ當該物資ノ引渡ヲ受クルトキハ其ノ對價ヲ供託スベシ

前條第四項後段ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 調査物資又ハ指定物資ニ關シ強制競賣手續、法依ル強制徵收 關稅徵收手續、

要求物資使用收用令ニ依ル使用又ハ收用ノ手續其ノ他此等ニ準ズベ
キモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該物資ニ關シテハ前
二條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第六條 第三條又ハ第四條ノ規定ニ依ル調査物資又ハ指定物資ノ讓渡

ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス

第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ讓渡スベキ調査物資又ハ指定物資ガ
知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ當該物資ノ讓渡ヲ受クル者
ハ其ノ對價ヲ供託スベシ

第三條又ハ第四條ノ規定ニ依ル調査物資又ハ指定物資ノ讓渡又ハ引
渡アリタル場合ニ於テハ當該物資ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ
拘ラズ所有權移轉ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ズ

第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ讓渡又ハ引渡ヲ命ゼラレタル調査物
資又ハ指定物資ニ付擔保權ヲ有シタル者ハ第三條第四項、第四條第
四項又ハ第二項ノ規定ニ依ル供託金ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第七條 主務大臣又ハ地方長官ハ調査物資若ハ指定物資ニ付關係者ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ調査物資、指定物資、書類、帳簿等ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

前項ノ證票ノ様式ハ主務大臣之ヲ定ム

第八條 主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ關係アル法人其ノ他ノ團體ノ職員ヲシテ前條ノ規定ニ依ル検査ニ關スル事務ニ從事セシムルコトヲ得

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依リ検査ニ關スル事務ニ從事スル職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第九條 主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ本令ニ依ル調査物資ニ關スル調査ノ實施上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第一條ノ規定ニ違反シ報告書ノ提出ヲ怠リ、虚偽ノ報告書ヲ提出シ又ハ世帯主ノ報告書ノ作成ニ協力セザル者

二 第二條ノ規定ニ違反シタル者

第十一條 第三條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル處分又ハ第四條第一

項若ハ第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 前二條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ得

第十三條 第七條又ハ第八條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ職員ノ検査ヲ拒ミ、妨グ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第十條又ハ第十一條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ

罰金刑ヲ科ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表

- 一 石油製品（礦物性ノ揮發油、燈油、^油輕油、機油及重油ヲ謂フ）
- 二 糸（絹糸及生糸ヲ除ク）
- 三 左ニ掲グル織維製品（中古品ヲ除ク）
 - イ 織物（長サ半ヤール以上ノ布ヲ謂フ）
 - ロ 毛布
 - ハ 外套（婦人子供用ノモノヲ除ク）
 - ニ 洋服（婦人子供用ノモノヲ除ク）
 - ホ 作業服
 - ヘ シャツ及ズボン下
 - ト 軍手

チ 卷脚絆

リ 靴下

ヌ 足袋

四 織維層

五 生ゴム、屑ゴム及ゴム製品（地下足袋、漕ゴム靴、タイヤ及チ
ューブ等謂ヒ中古品ヲ除ク）

六 革及革靴（牛、馬、山羊、綿羊及豚ノ革及此等ヲ主タル材料ト
スル靴ヲ謂ヒ中古品ヲ除ク）

七 硬化油及脂肪酸

八 鐵鋼（鉄鋼、普通鋼鋼材及特殊鋼鋼材ヲ謂フ）及鐵鋼製品（釘、
鋼索及亞鉛鍍板ヲ謂フ）

九 電氣抵抗合金

十 電氣銅、黃銅及青銅（此等ノ板、管、棒及條ヲ含ム）竝ニ此等
ノ屑及故

十一 錫（板、管、棒及條ヲ含ム）竝ニ其ノ屑及故

十二 アルミニウム及ジュラルミン（此等ノ板、管、棒及條ヲ含ム）
竝ニ此等ノ屑及故

十三 電動機（据付ケタルモノヲ除ク）

十四 變壓器（据付ケタルモノヲ除ク）

十五 電球（使用中ノモノヲ除ク）

十六 軸受